

市民活動について

～私たちの活動の理想の姿～

◆市の考え方について

富谷市は富谷市総合計画基本構想において、「住みたくなるまち日本一」を目指し、健全なまちづくりに向けて、市民みんなが協働するまちづくりを実現することを目標にしています。都市化が進み成長を続けている中で、まちの魅力と持続可能性を高め、少子高齢化や災害発生時などの社会の変化に柔軟に対応していくため、世代や立場を超えた多様な人々がつながり、みんなの知恵と力を活かす「オールとみや」の体制で、誰もが「住みたくなる」、そして将来にわたって「住み続けたい」まちづくりを進めていきます。

◆富谷市の市民活動を支援する主な施設等について

- 富谷市まちづくり産業交流プラザ
- 富谷市ボランティアセンター
- 公民館(6館)

富谷中央公民館、富ヶ丘公民館、東向陽台公民館、あけの平公民館、日吉台公民館、成田公民館

- 市民協働課

◆各種団体の状況

町内会	47団体 うち認可地縁団体 1団体	(令和4年4月1日現在)
NPO 法人	7団体	(令和4年7月19日現在)
富谷市ボランティアセンター登録者数	55団体 874人	(令和4年3月31日現在)
富谷塾生(第5期生)	126人	(令和4年7月19日現在)
市民協働課ホームページ掲載登録団体	46団体	(令和4年4月1日現在)

◆市の取組みについて

市民の活動への支援については、令和3年3月に策定した「わくわく つながる わたしたちのまちづくり—富谷の協働ガイドライン—」の中で、市民が活動しやすい環境整備を位置付け、その必要性が示されました。

令和4年6月、総合計画、協働ガイドライン、現状の課題を踏まえて、市における支援の在り方(主にソフト機能)について、富谷市協働のまちづくり推進審議会より提言を受け、令和5年度に支援方針のとりまとめを行い、具体的な支援を実施する予定となっています。

より良い市民活動にするためには・・・

